

2021年度  
事業報告書

(一社) 全国圧入協会

## 1. 圧入工法普及事業

- (1) 国土交通省、農林水産省に対し大規模災害や自然災害の復旧ならびに国土強靱化対策として有効な圧入技術の説明および九州・中国地方を重点地域とした技術講習会の企画等について説明を行った。

### 【国土交通省】

地方整備局	部署・事務所数	部署・事務所名
中国地方整備局	3	企画部技術管理課、道路部、松江国道事務所
九州地方整備局	5	防災室、企画部技術管理課、港湾空港部海洋環境技術課、大分河川国道事務所、八代復興事務所
合計	8	

### 【農林水産省】

地方農政局	部署・事務所数	部署・事務所名
九州農政局	1	農村振興部設計課
中国四国農政局	2	農村振興部設計課、岡山南土地改良建設事務所工事第二課
合計	3	

- (2) 地方自治体（県、市）に対し大規模災害や自然災害の復旧ならびに国土強靱化対策として有効な圧入技術の説明および九州・中国地方を重点地域とした技術講習会の企画等について説明を行った。

地方自治体	部署・事務所数	部署・事務所名
福岡県	2	県土整備部・企画課、建築都市部
大分県	1	土木建築部建設政策課
長崎県	1	土木部建設企画課
佐賀県	1	県土整備部建設・技術課
熊本県	1	土木部土木技術管理課
宮崎県	1	県土整備部技術企画課
鹿児島県	1	土木部監理課技術管理室
広島県	1	土木建築局技術企画課
岡山県	1	土木部技術管理課
鳥取県	1	県土整備部技術企画課
島根県	1	土木部技術管理課
山口県	1	土木建築部技術管理課
福岡市	1	財政局技術監理部技術監理課
熊本市	1	総務局契約監理部技術管理課
広島市	1	都市整備局技術管理課
岡山市	1	財政局財政部監理検査課
合計	17	

- (3) 九州・中国地方の業界団体に対し大規模災害や自然災害の復旧ならびに国土強靱化対策として有効な圧入技術の説明および技術講習会の企画等について説明を行った。

団体名(順不同)
(一社)熊本県建設業協会、(一社)熊本県測量設計コンサルタント協会、(一社)長崎県建設業協会、(一社)長崎県測量設計コンサルタント協会、(一社)宮崎県建設業協会、(一社)宮崎県測量設計業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタント協会、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)大分県建設業協会、(一社)大分県測量設計コンサルタント協会、(一社)鹿児島県建設業協会、(公社)鹿児島県測量設計業協会、(一社)鹿児島県建設コンサルタント協会、(一社)建設コンサルタント協会九州支部、(一社)福岡県土木組合連合会、(一社)福岡県測量設計コンサルタント協会、 (一社)広島県建設工業協会、(一社)広島県測量設計業協会、(一社)建設コンサルタント協会中国支部、(一社)岡山県建設業協会、(一社)岡山県測量設計業協会、(一社)鳥取県建設業協会、(一社)鳥取県測量設計業協会、(一社)島根県建設業協会、(一社)山口県測量設計業協会

- (4) 九州7県の行政・設計コンサルタント会社・建設会社の職員を対象とした圧入工法技術講習会(CPDまたはCPDS(継続教育)認定プログラム)をオンライン方式で7回開催し合計663名が受講した。

講習会名称	対象	実施日	受講者
『最新の建設 ICT 技術～災害復旧・防災・国土強靱化対策に有効な施工事例』	熊本県	5.28(金)	90名
	大分県	6.18(金)	93名
	福岡県	7.2(金)	175名
『最新の建設 ICT 技術～災害復旧・防災・国土強靱化対策に有効な施工事例』	鹿児島県	7.16(金)	114名
	宮崎県	8.27(金)	81名
	長崎県	9.10(金)	56名
	佐賀県	10.1(金)	54名
7回		合計	663名

- (5) 建設技術者全般を対象とした圧入工法技術講習会(CPDまたはCPDS(継続教育)認定プログラム)は、「基本編」に加え新たに「建設 ICT・災害対策・国土強靱化」を設け、オンライン方式で10回開催し、合計331名が受講した。

講習会名称	実施日	受講者	備考
圧入工法技術講習会 (基本編)	6.16(水)	97名	有料
	6.23(水)	35名	
	7.7(水)	29名	
	8.4(水)	21名	
	9.1(水)	34名	
圧入工法技術講習会 (建設 ICT・災害対策・国土強靱化)	6.30(水)	34名	
	7.14(水)	21名	
	7.21(水)	12名	
	8.11(水)	25名	
	9.15(水)	23名	
10回	合計	331名	

- (6) 技術講習会と現場見学会(CPDまたはCPDS(継続教育)認定プログラム)を開催した。

発注者	場所	実施日	受講者	会員
静岡県	焼津市	12.16(木)	70名	(株)小澤土木

- (7) 他団体が主催する「技術講習会」に講師を派遣した。

名称	実施日	場所	受講者	主催者
令和3年度 配水本管工事 技術支援研修	6.28(月)	世田谷区	81名	東京都水道局
鋼管杭施工管理 技術者育成講習会	8.8(日)	千代田区	60名	全国基礎工事業団体 連合会
圧入工法技術講習会 (京都府職員向け)	12.1(水)	京都市	47名	京都府

- (8) 本部ならびに北海道・東北・関西・九州の各事務所において、会員や建設関係者に対する圧入工法の技術支援を行った。

## 2. 社会貢献活動

- (1) 国土交通省中部地方整備局と締結した「災害時における中部地方整備局管内の災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定書(以下、協定書)」について、東海地区の会員が保有する杭圧入引抜機および技能者数等の情報を中部地方整備局へ提供した。
- (2) 国土交通省中国地方整備局および九州地方整備局に対して、協定書の情報を提供し意見交換を行った。
- (3) 国土交通省中国地方整備局との間で、災害時応急対策に関する情報提供および早期復旧の支援を目的とした「災害時における中国地方整備局管内の災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定」を締結した。(3月)なお、行政機関との災害復旧に関する支援協定の締結は、高知県、国土交通省中部地方整備局に続き3例目となった。
- (4) 会員と復旧支援協定に関する訓練を行い認識の共有を図った。(3月)

## 3. 圧入業界の発展に係る活動

- (1) 圧入技能者を主な対象とした「登録圧入工基幹技能者」の実施認定団体になるべく活動した。
- ① 圧入技能者の技能開発計画、圧入工法の特長、講習事務規程等、企画委員会を中心に提示資料をとりまとめた。
  - ② 登録圧入工基幹技能者の企画に基づき、国土交通省 建設市場整備課と継続的に協議した。
  - ③ 登録圧入工基幹技能者に必要な書類をとりまとめ、国土交通省 建設市場整備課へ

提出した。

- (2) 登録圧入工基幹技能者を推進し、行政機関や建設業団体との連携を強化するため、(一社)建設産業専門団体連合会(略称：建専連)に加盟した。

#### 4. 中国支部の活動

- (1) 現下の情勢における中国支部の活動について意見交換するため、同支部主催の幹事会を開催した。

##### 【中国支部の幹事会】

	会社名	役職等	氏名(敬称略)
支部長	(有)タケハラ工業	専務取締役	竹原 弾
幹事	(株)ウエヤマ	常務取締役	上山 剛
幹事	(株)出雲技研	取締役	矢野 潤
幹事(事務局)	(有)タケハラ工業		樋口 卓則
事務局	エムシー中国建機(株)	常務取締役	赤名 知利

- (2) 中国支部と本部が協力し「中国支部会議」を開催した。同会議では、災害復旧に関する支援協定の関連や協会活動に関する事項、中国地域の圧入市場動向等について意見交換を行った。

開催日	場所	会員数	参加者
12. 8(水)	広島市・オンライン併用	14社	18名

#### 5. 表彰

- (1) 圧入工法のさらなる発展を目的とした第6回表彰は全45件の応募があった。
- (2) 表彰委員会による検討を経て下記のとおり受賞が決定した。会員総会にて表彰案件を紹介し表彰楯を贈呈した。なお、記念写真の提供により協会ウェブサイトを通じて受賞会員について情報発信した。

[圧入技術表彰] (順不同、以下同じ)

名称	会員	工事名
現場部門賞	(株)梶川建設	令和元年度 防交金 第210-50号-4 太田川河川整備工事
	(株)技研施工	九州新幹線(西九州)彼杵川橋りょう
	(株)佐藤重機建設	取水施設災害復旧工事(第20号)
	土保産業(株)	伊佐津川総合流域防災・統合河川(経対・防安)工事
特別賞	(株)技研製作所 シーアイテック(株)	インプラント NAVI

オペレーター部門賞	(株)大崎産業	柳村 郁夫
	(株)崎山組	井上 亮平
	(株)技研施工	那須 真一
	(株)佐藤重機建設	片桐 芳人
	(株)高槻組	宮本 一幸

[映像表彰]

名 称	会 員	タイトル
写真部門賞	(株)SR基工	見学会（未来ある子供達へ）
	(株)SR基工	C57 180 と F111
	(株)親和	震災復興工事中の熊本城と桜とパイラー
	宮崎基礎建設(株)	全集中!!水道管に当てない呼吸!
	勿来建機(株)	限られた空間(超極狭低空頭)
	(株)梶川建設	外房の海から護岸を守れ!
		京浜運河の一部へ
	(株)藤井組	和歌山の海を守れ!
		営業線近接作業もご安全に!
		水の都の護岸工事
	(株)大興鋼業	航空制限下での安全第一施工
	(株)技研施工	災害復旧で活躍するインプラント構造
	(株)佐藤重機建設	「狭隘地に負けず、河道を守る」
		HEY 10°
	(株)角藤	追いかける! 大小圧入機による共演
見えない場所で支える仕事		
造りたい新設道路 守りたい静かな暮らし		
土保産業(株)	カモメの方がうるさいヨ!	
動画部門賞	(株)崎山組	次世代へ継ぐ技術と使命
	勿来建機(株)	河川横断
	土保産業(株)	『-防災・減災- 安心・安全な未来へ向かって』
	(株)技研施工	インプラント堤防が見守る黒潮の豊かな恵み
	(株)佐藤重機建設	命の水を護れ。

## 6. 国際圧入学会（IPA）との連携

- (1) 「オペレーターの技量と経験が圧入工法の施工性に及ぼす影響」に関する調査・研究について、同学会および協会の技術委員会が連携し推進した。調査方法等について技術委員会の委員長・副委員長を中心に会議を4回開催した。
- (2) 同学会が2021年6月に開催した「第二回圧入工学に関する国際会議2021」を後援した。
- (3) 同学会が発刊した「圧入工法設計・施工指針2020年版」および「同2020年版-第2刷-」の販売普及を図った。
- (4) 同学会発行の情報誌「IPA Newsletter」ならびに「第二回 圧入工学に関する国際会議2021」の情報を発信した。

## 7. 積算

- (1) 「圧入標準積算資料 2021年度版」を改定した。(全10資料)
- (2) 「積算ソフト2021年度版」を改定し各方面に普及活動を行った。  
2022年3月31日までの延べ普及数は179である。

## 8. 調査

- (1) 900 ハット形鋼矢板（45H・50H 単独・WJ 併用圧入、硬質地盤クリア工法）の標準歩掛化のため、会員の協力を得て発注案件情報の収集および国土交通省との協議を進めた。
- (2) 対象会員に対し「硬質地盤クリア工法施工実績調査(2020年度分)」を実施した。本調査は会員の事業活動に資するようレポートにまとめ会員へフィードバックした。
- (3) 国土交通省ならびに(一社)日本建設機械施工協会の要請に基づき、機械損料の算出に関する稼働実態動向調査に協力した。

## 9. 広報事業

- (1) 協会広報誌「圧入ジャーナル」は協会活動のほか、表彰、会員紹介、建設業界ニュース等の情報を掲載し3回発行した。
- (2) 建設技術展に圧入工法のブースを出展した。

名 称	実施日	場所	協会ブース来場者
E E 東北'21	6. 2(水)～3(木)	仙台市	約100名
九州建設技術 フォーラム 2021	10. 25(月)～26(火)	福岡市	約80名
建設技術展 2021 近畿	10. 27(水)～28(木)	大阪市	約240名
北海道災害リスク 対策推進展 2021	10. 27(水)～28(木)	札幌市	約150名

※「建設技術フェア 2021 in 中部」は、新型コロナウイルス感染防止等の理由で出展を取りやめた。

- (3) 協会ウェブサイトを通じて以下の情報を発信した。
- ①静荷重杭圧入引抜機の「K GK-100A」が(一社)日本機械学会の「機械遺産」に認定されたことをトップページに掲載した。
  - ②第6回写真部門賞の受賞写真をトップページに掲載した。
  - ③同 動画部門賞の受賞動画をトップページに掲載した。
  - ④表彰の受賞者から届いた表彰式の写真を掲載した。
  - ⑤2020年度の事業報告ならびに決算報告を公告した。
  - ⑥定款を更新し掲載した。
  - ⑦会員の入会情報をトップページに掲載した。
  - ⑧「圧入標準積算資料 2021年度版」(全10資料)を掲載した。
  - ⑨「積算ソフト 2021年度版」について掲載した。
  - ⑩「圧入工法設計・施工指針-第2刷-」について掲載した。
  - ⑪国土交通省中国地方整備局との間で締結した、「災害時における中国地方整備局管内の災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定」について掲載した。
  - ⑫圧入工法技術講習会の開催情報を掲載した。
  - ⑬杭圧入引抜機特別教育講習の開催情報を掲載した。
  - ⑭お問合せフォームを刷新し掲載した。
  - ⑮「圧入ジャーナル」を掲載した。
- (4) 会員サイトを通じて以下の情報を発信し会員へ周知を図った。
- ①第2回会員企業調査の集計結果を掲載した。
  - ②会員総会に関する情報を掲載した。
  - ③2020年度事業報告書・決算報告書ならびに2021年度事業計画書・予算書を掲載した。
  - ④「圧入標準積算資料 2021年度版」(全10資料)を掲載した。
  - ⑤会員から情報を収集し「災害・ヒヤリハット事例集」に事例を追加掲載した。
  - ⑥テレワークに伴い、お問合わせ等の電話対応の変更について掲載した。
  - ⑦2021年度ブロック会議に関する情報を掲載した。
  - ⑧第7回表彰の公募案内および建設専門紙に掲載された情報を掲載した。
  - ⑨硬質地盤クリア工法の施工実績調査結果レポートを掲載した。
  - ⑩「労働災害防止 提案の仕組み化(名称:M(Man)M(Machine)システム)」について掲載した。
- (5) 国土交通省等からの情報を配信し会員へ周知を図った。  
圧入工法普及および技術支援を目的に運営しているウェブ利用者システムの登録者(外部の建設関係者)は20,460名となった。(2022年3月31日現在)



## 10. 教育事業

- (1) 杭圧入引抜機特別教育講習（硬質地盤圧入機の内容を含む）は、オンライン方式で7回開催し、合計182名が受講した。

	開催日	受講者
1	4. 3(土)～4(日)	25名
2	4.17(土)～18(日)	25名
3	4.27(火)～28(水)	46名
4	5.22(土)～23(日)	21名
5	10.9(土)～10(日)	30名
6	10.23(土)～24(日)	17名
7	11.6(土)～7(日)	18名
	合計	182名

- (2) 圧入施工技士試験は開催時期を2度延期したが、新型コロナウイルスの影響でやむなく中止した。
- (3) (一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会等との連携により「鋼管杭施工管理士」育成講習会を共同で実施した。検定試験は11月に実施され125名が受験し49名が合格した。

## 11. 委員会の運営

### 11 - 1. 技術委員会

(1) 技術委員会の委員は公募のうえ次のとおり委嘱した。

[技術委員会 委員一覧 (順不同)]

	所属・役職	氏名 (敬称略)
委員長	ジオテック(株) 取締役会長	藤田 学
副委員長	(株)出雲技研 代表取締役	板倉 広明
	(株)佐藤重機建設 代表取締役	白崎 賢市
委員	(有)タケハラ工業 専務取締役	竹原 弾
	(株)遠藤工業 代表取締役	遠藤 剛
	光洋重機建設(株) 専務取締役	光常 正義
	(株)東洋商行 代表取締役社長	埴生 健一
	(株)イチキ 代表取締役社長	一木 靖賢
	(株)梶川建設 執行役員	鈴木 詳輝
	渡辺アーステック(株) 管理部長	大倉 宏木
	土保産業(株) 課長	樋口 雄久
	土保産業(株)	樋口 和宏
	丸井重機建設(株) 課長	上明戸智行
	(株)角藤 東京営業所長	小原 達也
(株)技研施工 室長	戸田 健二	

(2) 2021年度活動方針は次のとおり。

①圧入工法歩掛の改定

900 ハット形鋼矢板 (45H・50H 単独・WJ 併用圧入、硬質地盤クリア工法) 標準歩掛化への取組み等

②国際圧入学会との連携

I P A 技術委員会との連携

I P A ・ J P A の各事業における連携

③調査・研究の実施

硬質地盤クリア工法施工実績、I P A との連携に関する調査、積算に関する調査等

④現場の安全活動への取組み

労働災害防止の啓発等

(3) 活動方針の推進を主な目的に技術委員会を3回開催した。

(4) 国際圧入学会との連携や現場の安全活動をテーマに、同委員会の委員長・副委員長または対象の委員と5回会合を行った。

- (5) 労働災害防止に対する相互協力を目的に、技術委員会と賛助会員である㈱技研製作所との協議会を設置した。なお、協議会は9月より3回の会合を行い、同委員会の委員長・副委員長が出席し㈱技研製作所と意見交換した。
- (6) ㈱技研製作所との協議会において、安全上の改善事項等を提案・意見交換できる仕組み「労働災害防止提案システム（名称：MM（Man：人 Machine：機械）システム※）」を導入し、会員へ周知を図った。
- ※同名称には、人と機械が互いに力を合わせ、安全でより良い現場を目指すという意味を込めている。

## 11 - 2. 企画委員会

- (1) 企画委員会の委員は次のとおり。

[企画委員会 委員一覧（順不同）]

	所属・役職	氏名（敬称略）
委員長	㈱藤井組 代表取締役	森 致光
副委員長	㈱技研施工 取締役	坊 伸彦
委員	㈱出雲技研 代表取締役	板倉 広明
	ジオテック㈱ 代表取締役社長	桃野 耕一
	㈱梶川建設 執行役員	鈴木 詳輝
	㈱角藤 部長	小松 則明
	土保産業㈱	樋口 和宏
委員兼事務局	㈱技研施工 室長	戸田 健二
事務局	㈱藤井組 特任部長	畑中 正
	(一社) 全国圧入協会 事務局長	川辺 守
	(一社) 全国圧入協会	中村 有沙

- (2) 企画委員会は新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、圧入技能者の登録基幹技能者および建設業許可業種区分における圧入工事業の確立を推進テーマに、委員長・副委員長と課題について協議を進めた。
- (3) 企画委員会は圧入技能者の技能開発計画や登録基幹技能者の講習事務規程など制度関連資料をとりまとめ、国土交通省 建設市場整備課と継続的に協議を行った。
- (4) 圧入技能者の登録基幹技能者については新たに設置した技能委員会へ移管した。企画委員会は、建設業許可業種区分における圧入工事業の確立および労務課題等に関する事項をテーマに位置づけた。
- (5) 上記をテーマに企画委員会を2回開催した。

### 11 - 3. 技能委員会

- (1) 圧入技能者の登録基幹技能者について、制度全般の構築・運営を一元的な体制を進めることを目的に「技能委員会」を設置した。
- (2) 技能委員会の委員は次のとおり。

[技能委員会 委員一覧 (順不同)]

	所属・役職	氏名 (敬称略)
委員長	(株)藤井組 代表取締役	森 致光
顧問	国際圧入学会 専務理事 (前会長)	日下部 治
副委員長	(株)技研施工 取締役	坊 伸彦
委員	国際圧入学会 副会長、金沢大学 名誉教授	松本 樹典
	(株)小澤土木 代表取締役社長	小澤 智久
	(株)技研製作所 参事	岡田 充弘
事務局	(株)技研施工 室長	戸田 健二
	(株)藤井組 特任部長	畑中 正
	(一社)全国圧入協会 事務局長	川辺 守
	(一社)全国圧入協会	中村 有沙

- (3) 登録基幹技能者の専門テキスト案について、会員企業の委員3社が現場寄りの内容を加え企画した。
- (4) 専門テキスト案、講習、修了試験等の課題について技能委員会を2回開催した。

### 11 - 4. 試験委員会

- (1) 試験委員会の委員は次のとおり。

[試験委員会 委員一覧 (順不同)]

	所属・役職	氏名 (敬称略)
委員長	国際圧入学会 専務理事 (前会長)	日下部 治
委員	(一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会 代表理事	岡原 美知夫
	(一社)日本基礎建設協会 専務理事	本郷 康嗣
	国際圧入学会 副会長、金沢大学 名誉教授	松本 樹典
	東京工業大学 准教授	竹村 次朗

- (2) 試験委員会は、ワーキンググループを中心に登録基幹技能者講習の専門テキスト案を作成した。
- (3) 専門テキスト案は現場寄りの内容等の充実を図ることとし、技能委員会に同・テキストの制作を移管した。

## 11 - 5. 表彰委員会

(1) 表彰委員会の委員は次のとおり。

[表彰委員会 委員一覧 (順不同)]

	所属・役職	氏名 (敬称略)
委員長	(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会 代表理事	岡原 美知夫
委員	(一社) 日本建設機械施工協会 業務執行理事	渡辺 和弘
	国際圧入学会 専務理事 (前会長)	日下部 治
	(株) 日刊建設通信新聞社 取締役企画局長	松本 龍二
	(一社) 全国圧入協会 顧問、 (株) 技研製作所 代表取締役社長	森部 慎之助

(2) 表彰委員会は第6回表彰応募案件に対する審議、および2022年度の表彰に関する意見交換を目的に2回開催した。

## 12. ブロック会議について

- (1) ブロック会議は現地集合方式を検討したが、新型コロナウイルスの影響でオンライン会議により開催した。
- (2) 当会議では圧入技能者の登録基幹技能者の状況、積算資料の改訂情報、表彰受賞案件の共有や、各地区を中心とした圧入の市場動向、建設キャリアアップシステム、現場の安全等について意見を交換した。

	開催日	ブロック名	会員数	参加者
1	10.15(金)	東海地区	14社	20名
2	10.21(木)	四国地区	6社	7名
3	10.28(木)	九州・沖縄地区	15社	20名
4	11.4(木)	東北地区	11社	13名
5	11.11(木)	近畿地区	12社	14名
6	11.25(木)	関東・北海道地区	15社	18名
7	12.2(木)	北信越地区	6社	9名
		合計	79社	101名

注1：各地区会員数は、支店・営業所を含む

注2：中国支部会議については、4. 中国支部の活動を参照

### 13. 会員の現況

正会員は2022年3月31日現在で212社となった。

会員の構成

	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在	増減
正会員	210社	212社	+2
協賛会員	50社	51社	+1
賛助会員	4社5団体	4社5団体	±0
合計	264社5団体	267社5団体	+3
特別会員	8名	9名	+1

#### ①入会会員

【正会員】 2社 (株)ヤマセ工業、(株)アスク

【協賛会員】 1社 山崎マシーナリー(株)

【特別会員】 1名 和田 浩氏

#### ②退会会員 無し

③除名 (2022年度定時総会日付) (株)ミック、(有)照栄工業、(有)秀栄興業

### 14. その他重要事項

#### (1) 会員総会について

①6月の会員総会は、新型コロナウイルス感染防止のためオンラインによるライブ配信中心の開催とした。

②議事は「2020年度事業報告並びに決算報告承認の件」「2021年度事業計画並びに予算案承認の件」「定款一部変更の件」「理事選任の件」を決議した。

#### (2) 理事会の開催

①第1回理事会は4月に開催し「2020年度事業報告並びに決算報告承認の件」「2021年度事業計画並びに予算案承認の件」「2021年度会員総会について」「2021年度定時社員総会議案の件」「定款一部変更の件」「理事候補の件」を決議した。

②第2回理事会は8月に開催し「特別会員の推薦および顧問委嘱の件」を決議した。これに伴い、和田 浩氏に顧問を委嘱した。

③第3回理事会は9月に開催し「登録圧入工基幹技能者の構築および『技能委員会』設置について」を決議した。

④第4回理事会は11月に開催し「2021年度上半期中間事業報告並びに決算報告の件」を報告した。「2021年度修正予算案について」を決議した。また、当理事会では「圧入技能者の登録圧入工基幹技能者について」「2022年度会員総会について」「2022・2023年度 理事・監事候補について」それぞれ意見交換をした。

⑤第5回理事会は12月に開催し「登録圧入工基幹技能者の進捗状況等について」を報告し、本件の進捗状況の報告および国土交通省に対する書類提出について協力を依頼した。

⑥第6回理事会は2月に開催し「国土交通省 中国地方整備局との災害応急対策支援協定の締結について」「文書管理規定について」を決議した。

(3) 理事の辞任について

①渡辺勝一氏より理事の辞任届が提出され、受理したことを理事会に報告した。

以上